

佐賀県

多久未来プロジェクト

自発の力で地域を盛り上げる！



フルーティーで甘口の純米大吟醸「多久」



コロナ禍で飲食店を支援する食事券を販売



日本酒米の選定から稲刈りまで実施

取組概要

- 地域の未来を良くしたいと地元農家、蔵元杜氏、料理長など市民有志が集まりH30年にプロジェクトを発足。
- 多久市唯一の酒蔵である東鶴酒造とタッグを組み純米大吟醸「多久」を製造販売。収益を活用し、地域の産業に対する支援や地域を盛り上げるイベントなどの企画運営を行っている。
- コロナ禍における飲食店の支援活動としてgo to eatの販売に先立ち4,000円の販売額で5,670円利用可能な「5670(コロナゼロ)チケット」をR2年5月に販売。

活動成果

- 日本酒づくりには1口5,000円の寄付を募り同企画に賛同するサポーターが170人を超えて集まった。酒米は地元産を使用し地元農産物の高付加価値に寄与している。
なお、R3年度には1升瓶、720mlそれぞれ2,000本の販売を見込んでいる。
- 「5670(コロナゼロ)チケット」は市内44店舗が参加し、用意した350セットは即日完売し飲食店を大きく支援。

佐賀県立伊万里実業高等学校 フードプロジェクト部

食で伊万里を元気に！～伊万里版SDGs～



商店街の空き店舗を活用したまちなかカフェ



伊万里焼協同組合と連携した伊万里カフェ



フードドライブ・カフェ・マルシェ

取組概要

- 規格外地域農産物を活用した商品開発・カフェの運営。コロナの影響によりテイクアウト形式・移動型マルシェも実施。
- 食品ロスを防止するため、家庭で眠っている余剰食材を回収し子供食堂や福祉施設等に届ける「フードドライブ」活動も実施。

活動成果

- 規格外品を活用した商品については、2種類(平成28年度)から、15種類(令和3年度見込み)に増加。
- まちなかカフェ・マルシェにフードドライブを併設し、100点以上の食材を集め、子育て支援センター等に提供。

佐賀県立伊万里実業高等学校 フードビジネス科

佐賀県伊万里市二里町大里乙1414番地 Tel : 0955-23-4138 Fax : 0955-20-1002

[HP/EC/SNS] <https://www.education.saga.jp/hp/imarijitsugyoukoku/>

小城農泊推進協議会

佐賀県小城市で持続可能な里山創りに挑戦！



天山の知られざる巨石群を発見

蕎麦打ち・神様巡りなど農家民宿での体験

絵本「神様との約束」と「神様台帳」

取組概要

- 暮らしや環境を守ってきた里山が耕作放棄地や高齢化等により維持できなくなるとの危機感から「稼げる里山」づくりを進めるためH31年に協議会を設立。
- 協議会の拠点のある天山中腹の石体集落には数多くの神様が存在しており、里山再生・神々の郷プロジェクトとして各種の取組を実施。

活動成果

- 耕作放棄地をハーブ園や有機野菜は畑に整備し付加価値の高い加工品を開発・販売。
- 天山南斜面にある伝説の巨石群への登山ルートなどの整備や風習・伝承などを基に映像、散策マップなどを作成。
- 神々をイラストにした「神様台帳」を作成。「神々との約束」という絵本を作成し地元の小学校や図書館に贈呈。
- 国内外の旅行客に向け着付け・抹茶などの文化体験、神様巡りなどの里山体験プログラムを実施。